

氏名	假谷直之
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第3070号
学位授与の日付	平成8年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Protection of rabbits against HTLV- II infection with a synthetic peptide corresponding to HTLV- II neutralization region. (ヒトTリンパ向性ウイルスⅡ型(HTLV-Ⅱ)中和領域に対応する合成ペプチドを用いたウサギのHTLV-Ⅱ感染防御)
論文審査委員	教授 新居 志郎 教授 中山 睿一 教授 岡田 茂

学位論文内容の要旨

我々は、HTLV-Ⅱワクチンの開発に向けて、ウサギを用いて HTLV-Ⅱ感染に対する合成ペプチドワクチンの防御効果を確認するべく以下の実験を行った。

HTLV-Ⅱ Envelope gp46 領域の合成ペプチドによるウサギの免疫後血清の中和活性を、HTLV-vesicular stomatitis virus (VSV) pseudotype assay, および syncytium inhibition assay によって測定した。HTLV-Ⅱ 中和活性は HTLV-Ⅱ Env gp46, 80-103 ペプチドに対する抗血清では検出されたが、HTLV-Ⅱ Env gp46, 171-196 ペプチドに対するものでは検出されなかった。HTLV-Ⅱ Env gp46, 80-103 の合成ペプチドで免疫されたウサギ3匹と、非免疫ウサギ3匹に HTLV-Ⅱ 産生性ヒトリンパ球株(MOT, 1×10^7 cells)の静脈内接種を行った。非免疫ウサギは2週間後、HTLV-Ⅱ に対して血清転換を見せ、感染が持続したが、免疫ウサギには、HTLV-Ⅱ 感染が成立しなかった。Nested又は、repeated polymerase chain reaction にても、非免疫ウサギではHTLV-Ⅱ ウイルスゲノムが検出されたが、免疫ウサギでは認めなかった。これらの結果より HTLV-Ⅱ 中和領域に対応する合成ペプチドの接種が、HTLV-Ⅱ 感染予防に有効であることが示された。

なお、本論文は共著論文であり、共著者の協力を得て完成したものである。

論文審査結果の要旨

本研究は、ヒトTリンパ向性ウイルスⅡ型の中和領域に対応する合成ペプチドを用いてウサギを免疫し、同ウイルスに対する感染防御の成立することを認めたものであり、価値ある業績である。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。